

HO ゲージ制作記

18-C H.H



今回の鉄道模型コンテストにおいて、当部活では、583系電車を製作しました。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、583系電車は、昼は4人掛けのボックスシートを備えた特急車、夜はベッドを備えた寝台車として昼夜両方で使われた、珍しい車両です。

今回、私たちはこの車両のラストランの時の姿を参考にし、既製品を利用したクーラーやパンタグラフなどを除き、3Dプリンターなどを一切使わずに作成しました。

こだわった点

- ・車体のほとんどを紙で製作した点
- ・全面の帯の塗装

本来ならデカールやインレタで再現する部分ですが、塗装の違和感を生まないためにマスキングテープをつかい車両前面を塗装で再現しました。

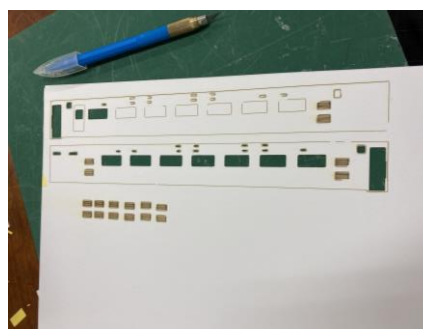
苦労した点

- ・スカート（排障器）

ジャンパ線を再現するため、細々としたパーツを紙とプラ棒で再現するのに苦労しました。

- ・先頭車の屋根の造形

やはり紙では限界があったので、パテで形を整えました。パテをシンナーで薄め塗り重ねていくという、地道な作業だったので、時間と根気のいる作業でした。



自作や日常から流用したアイデア

- ・ 車体の絞り

紙を階段状に貼り、その上からさらに紙を貼り重ねるということを繰り返すことで再現しました。

- ・ 貫通幌（幌）

コピー用紙を一枚一枚、幌の大きさに切り、蛇腹状に貼り付けることで再現しました。

最後に

これまでの桐蔭学園鉄道研究部では、H0 部門に出展する際、2 両から 3 両といった短編成の模型を作っていましたが、6 両編成の模型、例年より短期間で作りました。僕自身、H0 の車両を作るのが初めてでしたので、6 両も作れるか心配でしたが、OB でありコーチでもある先輩に色々と教わったり、同級生に手伝ってもらったりと、色々な人に助けをもらい、なんとかコンテストに出せるようなクオリティに作り上げることができました。最後となりますが、手伝ってくれた方々、そしてこの様な制作記を最後まで読んでくれた方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。